

令和元年度 第3回 野辺地町新庁舎建設等検討委員会 議事録

【詳細版】

日 時 令和2年2月26日(水) 午後1時30分～午後2時55分

場 所 野辺地町役場 第3会議室

〈 出席者 〉

野辺地町新庁舎建設等検討委員会委員

委員長	野辺地町自治会連合協議会	会 長	戸澤 栄
副委員長	野辺地建設業協同組合	理 事 長	手間本 興家
委 員	野辺地町議会	議 員	江渡 正樹
委 員	野辺地町議会	議 員	岡山 義廣
委 員	野辺地町社会福祉協議会	会 長	柴崎 民生(欠席)
委 員	野辺地町障害者福祉会	会 長	能登谷 秀雄
委 員	野辺地町商工会青年部	部 長	古林 和之
委 員	野辺地町商工会女性部	部 長	村木 亜弓
委 員	ゆうき青森農業協同組合 野辺地支店	支 店 長	松尾 隆史(欠席)
委 員	野辺地町漁業協同組合	代理理事組合長	山縣 勝彦(欠席)
委 員	(一財)野辺地町観光協会	常務理事	乙部 和弘
委 員	野辺地町連合PTA	会 長	沼端 宣子(欠席)
委 員	野辺地町教育委員会	教育委員	野坂 幸子
委 員	エボシ建設業協会	会 長	井口 豊次
委 員	青森県建築士会 野辺地支部	支 部 長	山崎 貢
出席者計	11人(欠席4人)		

野辺地町

財政課	秋島課長、西館調整監
建設環境課	濱野課長、古林課長補佐、柴崎主査
総務課	佐々木総括主査
出席者計	6人

【戸澤委員長】

それでは、本日の会議を開催します。

早速ですけれども、次第に従いまして、議事を進めます。まず、前回2月13日の検討委員会の振り返りについて、事務局の方から説明をお願いします。

【事務局 西館】

あのお、少し戻りますが…

本日は、柴崎委員、松尾委員、山縣委員、沼端委員が所用のため欠席となっておりますので御報告いたします。

はじめに、配布資料の確認をさせていただきたいと思います。

事前に郵送しました、次第、資料1 前回会議の振り返り、資料3 防災無線設備移設の概算費用、資料4 庁舎建設基本構想（修正案）の更なる変更箇所、本日追加で、机にお配りしました資料2 前回議事録、資料5 地方債質疑応答集（抜粋）、新聞写 建設物価です。

それでは議事に従いまして、前回の振り返りに入ります。資料1をお願いします。座って説明させていただきます。前回の振り返りの資料ですが、中ほどの5番、主要事項のところを説明いたします。

- ① 前回の会議内容を確認しました。
 - ② 「アンケート集計結果」と「改正前基本構想の内容」を比較し、主に「場所」と「大きさ」の項目に相違があることを確認しました。
 - ③ 基本構想の修正などについて事務局作成資料の説明がありました。
 - ④ 基本構想後半に記載する概算事業費等を積算するために示された「4つのパターン」からどれをベースにするか、また用地買収をどの範囲で計画するかについては各委員が持ち帰って検討することになりました。
 - ⑤ ④以外について、概ね事務局で作成した修正案の記載内容で了解されました。その中には重要な記載がありまして、1つ目としては現在の役場がある「本町地区」を建設候補地とし「本町地区」での建設計画・設計を進めるにあたり重大な課題がある場合などに「新町地区」での建設について検討するということが資料の15ページにありまして、2つ目としては新庁舎の延床面積は、公民館、図書館、資料館、小中学校、給食センターを除く所属の職員を収容する積算で約3,710㎡となるが、設計において効率的配置に努め、2割程度の面積縮減を検討し約3,000㎡を目標とするというのが13ページです。これらを含む内容で概ね良いということで、次回の会議を2月末としました。
- 次に資料2に入ります。ことらは詳細の会議録になります。内容については先ほど、概要を説明していますので省略させていただきますが、資料2の26ページをお開き下さい。
- 一番下の方にある山崎委員から「いくらかかっても、絶対本町に建てるんだという考えなのか、町長さんに聞いてほしい」という発言がありまして、その辺の確認は取って今日の会議に臨んでいます。資料1の説明は以上となります。

【戸澤委員長】

事務局から説明がありました。内容の修正とか気が付いたことがありましたらどうぞ。

よろしいですか。

よろしければ前に進みます。

事務局、案件に入ってください。

【事務局 西館】

それでは、資料3、4、5をご用意ください。資料3が郵送で事前配布してあるもので、防災無線の鉄塔を移設した場合の費用などが分からないというお話がありましたので、それを準備しました。

- ①今ある鉄塔と局舎を撤去すると大体2,600万円くらい。
- ②これと同等のものを新設した場合に5,500万円あまり。
- ③放送設備の機器を移設すると8,100万円くらいかかりまして、合計で1億6,300万円くらいになります。③に関して、新庁舎が建ったあとに機器類を移設する場合には、それに相当する金額が発生しますが、避けられないのですが、鉄塔自体を移設するとなると①と②を踏まえた8,000万円程度が必要になります。

財源手当ての見込みとしては、交付税算入を得られると思われるのは1,800万円くらい、残りは庁舎建設基金で賄って1億4,500万円ほどという計算になります。

中ほどの3は積算根拠になりますので詳しく知りたい方はお読み下さい。

2ページ以降についても費用の見積りですので説明を省略します。

次に資料4で面積がいろいろ変わった点です。変わったところの1点目としては、地方債同意等基準運用要綱の一部改正になりまして、市町村役場機能緊急保全事業の資格面積算出の基礎数値が1人当たり35.3㎡から40.8㎡に変更されたことに伴い修正しています。

2点目としては、新庁舎の1階に収容する予定の課から農業員会と農林水産課を3階に変更することについて前回の会議で特に意義がなかったもので、これを参考にして面積を計算し直した点です。

まず、前回の資料14の地方債の資格面積の基礎数値が変わった影響になりますが、中ほどの4.1新庁舎の規模の算定という項目がありますが、ここに青字で改正日を入れまして、以下、4カ所青字がありますが、35.3㎡だったところを40.8㎡に修正しております。

10ページになりますが、一番下のところが40.8㎡に変わりましたのでそれに101人を掛けますと、大体4,120㎡に変わります。

次の11ページは変更点がありません。

12ページをお開き下さい。表7は1階にあった農林水産課と農業委員会を3階に移動させて計算し直しました。

次に13ページになります。13ページは農林水産課と農業委員会を1階から3階に変更した影響です。表8の1階と3階の内訳が変わって、中ほどの4.5の延べ床面積等ですが、前は建築面積が1階から3階まででこぼこしておりましたが、最大1,413㎡から1,251㎡と変わりました。表9で見ますと1階から3階まで同じ面積になっております。

最後の14ページは上のところが変わっています。公用車の車庫と書いてしまうと倉庫を含むと理解してもらえないので、書き加えて倉庫等としました。そして次の数字が元々3,565㎡だったのを4,120㎡に変えました。それで3,000㎡を目標としておりますので、残り1,100㎡の範囲内で車庫、倉庫棟を効率的に設計していくことになります。

続いて資料5をお願いします。これは令和元年度の地方債質疑応答集の抜粋になります。前回、基本構想は大体18億円という事業費を書いておけば、そんなに事業費の内訳を書かなくていいのではないかというお話がありましたのでこの資料を準備しました。

黄色く線を引いているところを読めば分かりますが、今、野辺地町で作っている庁舎の基本構想と呼ばれるものには、もともと対象施設、計画期間、施設の状態、対策内容と実施時期、対策費用が全て記載されております。そのため、このかたちで修正することによって市町村役場機能緊急保全事業の対象となって使えるようになりますので、この制度を使う以上は、ある程度の計画と計画期間、概算事業費を記載する必要がありますのでご理解を頂きたいと思います。

【戸澤委員長】

防災無線、鉄塔等の説明がありましたが、皆さんから何かご質問ありますか。

【岡山委員】

審議に入る前に事務局に確認したい点があります。野辺地中学校の南側に建てる場合の事業費の詳細の中に現庁舎の解体工事費、用地が1億2,000万円、いま示されているシステム移設費が当時の事業費の中に入っていましたか。

【事務局 西館】

確認しますがまず、解体の費用、システムの移設費、用地の買収ですよね。前回の資料7の2ページ目をお開き下さい。右側のパターン4に書かれておりますが、いまお尋ねの2点は入っております。用地費が1億2,000万円あまり、移転に関しては2,200万円が書かれております。ただ、解体に関しては別財源で行う行在所公園整備事業がありましたので除かれています。

【岡山委員】

現庁舎の解体は見込んでいないことと、システムの移設費と用地の買収費は含まれていたということですね。

【事務局 西館】

はい、そうです。

【戸澤委員長】

あとよろしいですか。

【手間本委員】

いま岡山委員がお話ししたことに関連して、中学校前に役場を建設したとして防災無線を移設する際に調査費が1,200万円くらい、実際の事業費として7,000万円から8,000万円あったはずですよ。この中には入っていないわけですよ。これについてお伺いします。

【戸澤委員長】

事務局、説明して。

【事務局 西館】

それはパターン1～3とパターン4のどちらにも入れていません。パターン4はご指摘のとおり設計に約1千数百万円、移設の場合に7,000万円と言われておりますが入りません。逆にパターン1～パターン3は本日お配りした資料3にある8,000万円くらいが入りません。そのためどちらも8,000万円くらい抜けています。それは新庁舎を建設に関連する部分に限っての比較をしております、防災無線の移設は別個の事業として捉えています。

【江渡委員】

1回目の資料を見ると概略でパターン1、2、3で庁舎があって防災無線の場所があって。防災無線は移設しないような設計になっていますよね。今回、初めて防災無線の予算の話が出たけれども、(防災無線を)移さなければ(新庁舎に)つなぐために設備の移設はかなりあると思うけれども、向こう(新町)に行く事は分からないわけで、パターン4には避けてとれない経費は載せるべきではないかと思います。

【事務局 西館】

本日の資料3をご覧ください。上の1の①と②は確かに鉄塔を動かす経費で8,000万円ほどです。これはパターン1からパターン3で無線の位置を変えなければかからないのですが、1の③の8,100万円というのは、新しい庁舎の中に放送室を移設して防災安全課の近くから災害情報を発信するには庁舎内に入れる必要があり、どうしてもかかります。ただ、これを新庁舎の建設費に込みにしていくと、前回の新聞等で報道された額に8,000万円を足して比較しなければならないわけで、事業費が上がったと町民の方が思う可能性があるのもともと別事業として組んでいたのが加えないでおります。

【江渡委員】

鉄塔の移設する、しないの話は、委員長が2回目の時にお話しされて出てきましたと。当初は出てきませんでしたよね。その出てこなかったのが委員長からの提案で出てきましたと。掛かるものはかかる、掛からないものは掛からないと別にしてしまうと、今の話からすれば鉄塔は移設ありきでいくということですか。

【戸澤委員長】

1つの考え方として、鉄塔を移設できるのであれば設計ががらっと変わってしまうだろうという考え方が1つ。事務局がどのように考えているのか。これをそのまま使うのか。役場庁舎が2階、3階の高さになるので頭の方だけ再利用して使うことも可能であると専門家から聞いていますので、どのようにする予定なのか確認したい。

【岡山委員】

再利用するにしても工事期間中は撤去しなければなりません。そうすれば工事期間中は使えなくなる。そうすれば町民サービスに直結します。防災無線の鉄塔の直径は長いほうで6mくらいあります。パターン3の場合は庁舎の建設予定地の南側のほうに倉庫と車庫がありますが、逆に倉庫と車庫は北側にもって行って、6mくらいあるところを倉庫と車庫の通路にすれば防災無線には全く影響ないかと思えます。

【戸澤委員長】

これ再利用する計画か。

【事務局 西館】

今の防災無線に関しては、工事と設計上問題がないのであればそのまま使いたいと思います。ただ、機器に関してはパソコンをベースとしたシステムであるため、どうしても変えなければならないということもあって、新庁舎の時期に向けて変えたいと思います。再利用するのは鉄塔であって、どうしても放送機器は変えなければならないと思います。

【戸澤委員長】

手間本さんどうですか

【手間本委員】

前回お話ししていただきました、資料7の工事のパターンの比較ですが、パターン1の中でNo.2アンケートの意向の充足等の一番下にコスト縮減を満たせない恐れと書かれていますが、これは建設工事費のことですか。中身はどういうことでしょうか。

【事務局 西館】

コスト縮減を満たせない恐れとは、今ある庁舎の場所に建替えするためには仮設庁舎を確保するためにプレハブを2年くらいリースした場合に、どうしても2億8,600万円くらいの見積もりがきており、それがネックなるだろうということを書いてあります。前回、お帰りの際にオフレコの資料を渡してありますが、他の方法で仮設庁舎の費用を抑えることはできないかということは、どうしても今の場所にやる場合は考えさせていただくことにしています。

【手間本委員】

はい。わかりました。

【戸澤委員】

今までの説明で納得されましたか。よろしいですか。

【江渡委員】

誠に恥ずかしながら、こういう鉄骨とかについてはよく分かりません。それで委員の中に非常に建設に知見に長けている方が何人かいらっしゃるから、検討委員会のたたき台パターン1、2、3、4とあるが、色々な意見とアンケートを見ながら町民の意見、それから予算等いろんな面でプロの方々と相談したものを提示してもらえると非常にわかりやすいと思うが、いかがなものか。

【戸澤委員長】

そこが面倒くさいところで、全く無知のかたちの中で専門分野のことについては意見が出しようにも出しようがない方がいて、それに意義ありませんかというのは非常に面倒くさい話です。これは1つの案として委員会でもまとめて、きちっとしたものは皆さんからご意見出せるはずがないでしょ。建設物のものについては、いま江渡さんから話があったように専門分野の人から1つの参考資料として出してもらってそれを検討するという方向はどうですか。それぞれ職場が違っていてもいくらかでも知識がある人たちが議論するのであれば

いいのだが、私もそこには入っていけない、分からない。だからこの委員会というのは建物はどうする、何㎡でどうする、鉄塔はどうするといっても議論のしようがない。事務局が大変苦労されて1つの案を作ってくれてるけれども、それでどうですかというかたちでだけ進んでいくが、その辺の進め方についてご意見がありましたら。その専門的な部分についてはそういうかたちで1つのたたき台を作ってもらって、私たちがこれがいいだろうというかたちをとっていきますか。どういうふうにしたらよろしいでしょうか。

【山崎委員】

私が考えるには岡山さんが言ったみたいにこのパターンはないだろうなと感じはしています。パターン3でも2でも。どこまでこれを決めるのか、何㎡で何mの建物をここにやるというのではないはずです。そこは基本設計に入ってから参加させていただくということなので、位置的なものをしっかり決めましょうというものではなかったと思います。どうなんでしょうね。とりあえず今回は前回お話しした中央薬局さんを買うのか買わないのかメインで・・・

【戸澤委員長】

ごめんなさい、ちょっと。だからといってこの委員会が財政が将来を見通したとき買えるのか買えないのか、それは議会と町長が判断することなんですよね。我々が広いほうがいいから買いましょうよと決めるのは簡単だが、そこまで突っ込めるのかどうか。

【事務局 西館】

じゃあ前回議事録の確認事項についてです。前回議事録の26ページに山崎委員が発言したことについて町長に確認をしました。まず、お尋ねされたのは、いくらかかっても絶対ここ本町に建てるんだという考え方なのかどうかについて確認しました。私、2月20日の9時40分くらいに聞いてきました。町長のお話をまとめますと、まず、町民の声を聴くというプロセスを大事にして進めていきたいと考えています。新庁舎建設に関するアンケートで、場所については、いま役場がある本町が過半でありました。駐車場を確保してほしいという声が多かった。1箇所で手続きができるようにしてほしいという意見も相当数あったということを理解していて、その集計結果を受けて、本町で駐車場を確保して役場窓口を1箇所に集約して町民の希望に沿う役場庁舎を建設することが目標となる。そのために相応のコストが掛かることはやむを得ないと思うというお話をされましたのでご報告いたします。

【戸澤委員長】

その相応のコストというのは、どういうふうに受け止めればいいのか私も分かりませんが。例えば、田清さんと鷹場さんの車庫。この面積でこれだけの職員体制の中で町民が使

いやすい庁舎を建てれるか、建てれないかといったら、これはもうプロの世界で設計屋さんが知恵を絞る。その相応のコストというのはもっと土地を買ってもいいよという相応のコストなのか、利便性をよくするための相応のコストなのかということで、町民の多くの方々がコンパクトで無駄のないように建物を建ててほしい。(欠席した沼端委員から提出された手紙を見て)先ほど沼端さんからも考え方が示されていましたけど。そういうことが本当の意味の町民の思いだと思うのですが。だから町長さんは恐らくそれ以上言えないでしょう。議会の承認を得なければならないから。だから相応のコストという言葉に代えているのだと思う。だからそう言ったから隣も買う計画を立てましようと言っても果たしてここで議論できるものなのか。

ぶっちゃけ申し上げれば、新町で建てるための予算よりも土地を買っても間に合うような範囲でやることによって私は町民が納得するのではないかなと思う。

どんなものでしょうか。

【江渡委員】

委員長が言ったような内容で答申するのであればアンケートがあるだろうしね。設計屋でもない何でもない者があれこれ議論しても、そのまま設計にもっていける保証はないし。なのでパターン1, 2, 3で結論を出すのではなく相対的な感じで。例えば町民の方が相談する部屋は最低限確保するといった町民が使いやすいような建物であればと投げかけて終わりということもあると思う。

【戸澤委員長】

事務局としては、分かっていると思うけどやっぱり限界があるよね。この委員会で一つひとつきちんと決めていくことは。先ほど言ったように皆それぞれ職場も知識も違うし。分からない、何も自分たちの意見を述べられない人たちが異議なし異議なしでやっていっていいのかというところの整合的な部分。例えば大掛かりにお金が掛かってもよろしいですよと言っても結果的には役場庁舎を建てることによって次の小学校を建てなければならないという時にそっちのほうに影響があって無理な財政になるようなことを我々は答申できないですよ。その辺のところを、どう弾力的に骨格を決めて答申できるのかなということをお皆さんで1つになって意見をまとめていかないと、この委員会ではなかなかいいかたちで答申できない気がするのですが。

【手間本委員】

私の個人的な意見ですが、検討委員会で皆さんに検討してもらいたいということで、まず、本町がアンケートが多かったと。だから本町にやりましよう。この委員会でまとめるとすれば、あるべき姿が土地を確保しなければいけない。2箇所買うのか3箇所買うのか。それによってパターン1, 2, 3が出てくるわけですよ。事務局でいろいろ調査してかなり時間

をかけて作ったと思うのですがこの資料7は。これを皆さんに分かりやすく書かれているわけですね。これを見る限りでは、1、2、3を比較してみると1のほうがかなり使いやすい。使いやすさを考えれば、窓口にきてワンストップで全部の課を回れるという使い勝手のいいほうで行くのであれば1じゃないかなと。ですので、その辺を最低限でも場所と提示されているパターンをこの辺でいいのかなというのはこの委員会でもできるのではないのでしょうか。せっかく作っても使いやすくなければ意味がないですよ。

【戸澤委員長】

それはそうです。

ちなみに薬局さんにご協力をお願いすればどのくらいかかるという積算をしていますか。

【事務局 西館】

薬局さんはだいたい5,500万円くらいです。

【戸澤委員長】

無理だな。

【事務局 西館】

ちなみに328㎡です。

用地は2万円くらいだとしても、建物がだいたい350㎡くらいになりまして、そちらが・・・

【戸澤委員長】

5千何百万円。

【事務局 西館】

5,500万円くらいです。ただ、これもまだ単価が判明していないので。

【山崎委員】

いま手間本さんが言ったみたいに建築に関わっている人間というのは、何ぼでも更地で広いほうが設計でも工事でもやりやすいというのは分かりますが、ただ、実際に仮庁舎を作って3億円を捨てるようなことを、町民の方々が納得するのかといえば、個人的にはコンパクトにと言っている言葉のほうが近いので、私的には1番はないのかなと思っています。できるのであれば事業費を下げて、委員長が言ったように新町の予算よりも上回ることになるのは、この委員会の決定事項としてはどうなのかな。アンケートが本町なのでこの委員会でも本町にしましたというのでは、この委員会の意味を成さないのでは、どこかでラインと

どうか、前の予算よりは少ないんだということが絶対条件なのかなと思っています。

【戸澤委員長】

いいご意見。私もそう思っておりました。これから人口は減っていくし、職員数も減っていくのは分かっているのだから。どこまでも国がそう定めたのだからとって、満額のめいっばいの庁舎を建てるのは改めていかなければと思う。

【事務局 西館】

事務局からいいですか。

【戸澤委員長】

どうぞ。

【事務局 西館】

皆様、専門家じゃないのに細々決めるのは大変だというご意見がございましたので、確認していきますけども。まず配置をどうしますか、設計をどうしますか、防災無線をこういうやり方にするといった高度な設計を伴うようなことを求めてはおりませんので、その辺をご理解いただきたいと思います。委員会として決めていかなければ答申ができないだろうと思われる項目としては、場所は本町にするのですかということ固めていくことと、いまおっしゃった買う場所ですね。3者から買うところまで計画しますかというところ。次は建築延べ面積。こちらは役場の職員を全部入れると3,700㎡になると言ってるけれども、コンパクトに3,000㎡に抑えるんだよという書き方で面積を3,000㎡にしますというのがこれでいいのかと、次が財源計画で、仮設庁舎まで入れて二十何億円にするのか、それとも19億5,000万円くらいに抑えるのかの決定と、返済していくときに町民負担、他の小学校とかの事業に影響しないことを考えていくときに、庁舎建設基金を活用して返済計画を立てて一般会計の負担を小さくしていきますよというこの辺の書き方。これだけが皆さんの意見がまとまって決まればよいので、割と別に建築設計ができるできないに関わらず、皆様のご意見で選べるころだとは思いますが、いま言った、場所を本町にするのか、3,000㎡の面積でいいのか、価格はどこで抑えるのか、返済は庁舎建設基金で返していくのか、その辺を重みに感じないでご意見いただけたらと思います。

【戸澤委員長】

土地を3箇所にするのか2箇所にするのかということも絡むんだけど、いまの段階では2箇所でも十分建てられますよという話は聞いています。設計屋さんたちから。

3箇所目の薬屋さんのことについては、議会と財政が許せるのであれば、3つの候補も案として審議してもらいたいというような内容でしかできないのでは。

いまの2箇所でも建つには建つらしいです。

【野坂委員】

前回、本町にするか新町にするか決めてほしいという話だったので、今回の話し合いでは本町に建てるということで確認していいのですか。

【戸澤委員長】

うん、それは前回でもう確認はしたけれども。

【野坂委員】

前回、私達に考えてきてというのは、1から3までのパターンでいいのか考えてきてほしいというのが宿題にされていたと思いますが。そのことについて一生懸命言って下さっている方がいるのですが、もう一回確認してみて、どのパターンがいいのか、こういうところを見直しかければもっとよくなるのではないかと、プロでないから分からないのですが、せっかく意見を出してもらったので、もしよかったらどの案がいいのか決めてもらえれば、それで、さらに決まってからプロの方に意見を頂くという進み方はできないのでしょうか。

【戸澤委員長】

いや、できないわけではないと思いますよ。

先生のおっしゃることはごもっともです。逆に宿題は出されたけれども本町2箇所で大丈夫ですよというプロの意見があったり、ここまでやるとこうなるよと、逆に今のパターンではなくてもう一回プロから聞いてたたき台を作ってもらおう。

我々は知識がないのにそのパターンだけにとらわれて議論してもちょっと無理があるなという思いもあります。

あとは町長さんが3箇所で約6,000万円のプラスになったときに大丈夫だよという見通しを立てているのか確認をしないといけませんよね。

【事務局 西館】

休憩していただければ話せますけども。

【戸澤委員長】

じゃあ休憩しましょう。

暫時休憩

【戸澤委員長】

再開します。

やむを得ない事情があれば、そこも検討していいのではないかという考え方は持っているようですけども。いずれにしても、町民と約束してこのようにしたいということで進めているわけですから。それは土地があればあるほどいいですよ。

【江渡委員】

もう一回、さっき言ったようにここにプロの方がいらっしゃるから、正式な資料としなくても、口頭でもいいから意見を出してもらって、さっき事務局が話したようにこの委員会は、これとこれとこれを確認してもらえればいいということもあるから、プロの方々が話したのも参考にしながら次の検討員会で各項目をまとめてはどうですか。

【戸澤委員長】

それでは、次の時に、3ヶ所の土地を購入したときはこれだけの建物が出来て、これだけ利便性がある、ないというもののたたき台を、今のにプラスして、ある程度専門家から出していただいて、それらの中から決めていきましょう。

【野坂委員】

パターン2でいくということですか。

【戸澤委員長】

今の場合、2ヶ所の土地だけで議論するのか、6千万円近く多くかかるんだけども、中央薬局さんも含めた場合はどんなもんだろうと、プロの方々にある程度たたき台を作ってもらって、それを踏まえてもう一回、土地はここと決めたわけですから、同じ土地の中でもアンケートで町民が使いやすい、コンパクトと整合性を出すために、そういうたたき台を作っていたら、どんなものでしょうか。

暫時休憩をします。

(休憩 14:22~14:34)

【戸澤委員長】

じゃあ正式に再開しますよ。

先ほど私からお話ししましたけども、内々で聞いたところ、2ヶ所の土地（の購入）で十分建つそうです。もし必要であれば、付属案として予算とかが認められるのであれば、中央薬局さんの購入も検討するというような答申の仕方はどうでしょう。

それは議会側で審議することなんですけど、全く絶対2ヶ所だという決定事項じゃなくて、2ヶ所で建つけけれども、3ヶ所だと大変便利なんだけれども、予算の関係上、2ヶ所で建てることに決定しましたと、付属案として予算が認められるのであれば3ヶ所の検討もすべきという内容で答申すればどうでしょう。
よろしいですか。

(「はい」という声)

【戸澤委員長】

それでは事務局、そういう風な形で、2ヶ所で決定ということで。

【事務局 西館】

2ヶ所が基本で、困難な場合3ヶ所ということで。

【戸澤委員長】

財政の問題だからこういうのは、その検討案の一つとして3ヶ所を購入して建てることも、という風なことでよろしいかと思えますけども。よろしいですか。

(「はい」という声)

【戸澤委員長】

ではそのように進めることにします。

あとは、なにかありますか。

【事務局 西館】

建築面積を削ると言っていましたけれど、必要なのは3,700㎡だけれども3,000㎡に設計していくのを目標にするという書き方でよろしいですか。

【戸澤委員長】

どうでしょうその辺は、3,000㎡でどのくらいきついのかどのくらい余裕があるのか、誰も分からない。

【岡山委員】

私の考えは、3,000㎡よりもう少し減らしてもよい。総3階建てで2,760㎡が良いと思う。

【戸澤委員長】

だとすれば、2,700 m²から 3,000 m²の間でという風に弾力付けますか。きちっと 3,000 m²と言わないで、2,700 m²から 3,000 m²が望ましいと。そういう形だからこれから議会で審議していくということで、そういう進め方でいいですか、m²数については。

【事務局 西館】

元々、3,710 m²って計算されているので、中々それは厳しいと思います、75%以下になるので。

【戸澤委員長】

それは一人当たり何m²で計算しているの。会議室も含めた総面積でしょ。

【事務局 西館】

前回資料にあります、執務室に関して一人当たり 4.5 m²、会議室は 7 m²と色々計算がありまして、前回の資料 5 の 12~13 ページに書いてあります。計算していくと 3,710.5 m²となります。この（基礎数値が）40.8 m²とは違う話ですので、一人当たり 4.5 m²とかなので、デスクにおいて（一人当たり）2 m²くらいが執務室という感じです、平職員の場合は。

【戸澤委員長】

たとえば、いろいろ議論するけども、議会（議場）の大きさ、委員会室の大きさ、通路の取り方などを専門家が工夫すると結構できる（削れる）んじゃないかなと思うんだけど。

【事務局 西館】

前回の資料でも説明したんですけども、面積だけを削っても結局設備の値段がほとんど変わらないので、職員が居ればその分蛍光灯が一つ増えるとかはあるでしょうけど、そんなに（全体的な）値段は変わらないので、面積を削ればコストが下がるという考えであれば、そこをもう少し柔らかくしていただけないかなと。

この間言ったように、家建てますよ、リビングが広ければ豪華になりますよと、じゃあリビングをちょっと狭くしなさいと言っても、結局、風呂場もキッチンもトイレもそのまま残っていれば、家の建築費ってそんなに変わらないんですよ、確かに電球 1 個減ったりコンセント減ったりするんですけど、役場も同じで、機械室からエレベーターからそのままあって、職員一人当たりの面積を減じてもそんなに下がらないので、そこを何とか 3,000 くらいということにしたいので。

【戸澤委員長】

山崎さん、どんなもんですか。

【山崎委員】

今言ったことは、正しいかと思います。結局は、坪 50 万円の家でも、トイレだけって考えれば坪 80 万円とか 90 万円とかになるんですね、全体の建設費を面積で割っただけの単価で、坪いくらだっていうだけの話なので。

(庁舎では) 例えば 700 m²くらい減らすってわけでしょ、0 ということはないですから基礎とか壁とかは減るわけですから、40 数万/m²見ているのを、そんなに減らないのかな、35 万円とかっていう勘定はしますけど。

【戸澤委員長】

単純に言ったら、100 m²のを建てようとして、70 m²にしたら、30 m²×20 万円だとしたら、30×20 の 600 万円。m²単価が決まっているんだから面積減れば必ずスパッと消えるでしょ。設備費とかはそれは動かないものだから。

【山崎委員】

なので、例えば建築工事がいくらで、電気工事がいくらで、機械設備がいくらでというのが出てくれば、建築費だけはその面積分減らすことはできると思いますけど、設備の方はそれほど変わらないと考えます。

【戸澤委員長】

基礎工事部分、外構工事部分が変わっていくわけだから。手間本さんどうですか。

【手間本委員】

とりあえず 3,000 m²でやってみたら。

【山崎委員】

要するに 700 m²削るだけでも、かなりゆるくないと思いますよ。

【戸澤委員長】

岡山さんどうですか。

【岡山委員】

私は、かなり計算してきたので。

(笑い声)

【戸澤委員長】

例えば 3,000 m²前後、3,000 m²を核とした前後で、100 m²減ろうが 100 m²増えようが、という感じで。

【野坂委員】

3,000 m²以内でいいんじゃないですか。あとは設計する人が。

【戸澤委員長】

役場（事務局）でも 3,000 m²って出しているから。

【野坂委員】

今ここで正確に出せないし。

【戸澤委員長】

それでいきますか、3,000 m²以内。あとはありますか。

【事務局 西館】

財源計画のところですが、一応 2 者分の土地を購入で、仮設庁舎なしの案が来ましたので、これをベースに計算させていただきます。あとは庁舎建設基金でなるべく負担が大きくなるように計画してまいります。おおむね前回資料 5 の基本構想の内容の修正版は固まってきたと思います、今お話しくださった事をベースに基本構想の更なる修正案を作ってお送りし、今度は 1 ページずつ、こう書いてあるけどいいですか、ということをお諮りしたいと思います。

【戸澤委員長】

今日やったことをベースに、新しい構想案を作ってやっていきたいと思います。

（「はい」の声）

【戸澤委員長】

それでは、今後の進め方についてお願いします。

【事務局 西館】

今後の進め方についてであります。

今、一度お話ししましたけれども、基本構想案の修正版をお作りして皆様の元にお送りしたいと思います。次の会議からは、構想案を一ページずつ見ていって、このページはこれでい

いかというようにお話ししながら、内容を固めていきたいと思います。ある程度内容が固まったら、この構想書の修正案を答申しますので、答申の案というのも準備して協議していきたいと思います。

【戸澤委員長】

今の説明で、今後の進め方についてよろしいですか。

(「異議なし」の声)

【戸澤委員長】

今日一番いい返事でしたね。

あとは、よろしいですね。

【事務局 西館】

今回の会議案内ですが、3月議会が3月中旬にありまして、厳しいです。構想の案を事務局で作りますが、2者から買った場合の配置案は宿題じゃないですよ。

【戸澤委員長】

もしできたら、無理しなくてもいい。

【事務局 西館】

それを準備するのであれば、次まで時間が必要になるんですけど、事務局の資料でよければ、次の早いうちにやりますが。

【山崎委員】

私的には、基本設計に入らせてもらえれば、ここでその配置が決まりましたとかというのではなくてもいいのかなと思っていました。

【事務局 西館】

そうすれば、構想案の修正を事務局で進めていきたいと思いますので、次の会議は、例えば3月5日というのはどうですか。

【戸澤委員長】

事務局は3月5日に開いていただきたいという希望があるようです。100%皆さんの都合がいいとはならないでしょうけど。

(意見なし)

【事務局 西館】

5日の午後1時半くらいを目標として、資料を準備します。

開催案内だけ先に送りますが、会議録は時間がかかりますので、後ほど出来次第お送りするということで、よければこの辺でやれば、3月5日と19日かその次の週とかにもう一回できれば、4月に間に合うかと。

【山崎委員】

答申の日は決まっているんですか。

【事務局 西館】

いえ、委員の皆様の意見がまとまれば。

【山崎委員】

3月いっぱいとかって。

【戸澤委員長】

(それまでに)出来ればね、これから議会も動くわけですから。

それでは5日の1時半ということで、よろしくお願いします。

今日の会議はこれで終わります。